



OPEN 神戸～市民に開かれた市政～

神戸市会議員 中央区

よこはた 和幸

かずゆき

編集・発行 こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

本会議にて代表質疑！「夢と希望」ある神戸をつくる！

令和元年第2回定例市会が9月18日（水）から開催され、9月26日（木）本会議にて平成30年度決算の今後の見通しや、東京一極集中の是正、児童虐待について、行財政改革についてなど、代表質疑いたしました。神戸市民がわくわくするような提案や、「夢と希望」ある神戸を作りたいと思います。



決算全体と今後の見通しについて

よこ 少子高齢化、社会保障費の増大、人口減少に対するリスク増は、近々に神戸市の財政を逼迫させます。5年後、10年後、将来ビジョンを見据えた根本的解決に向けて全庁的に取り組んでいただきたい。

個人市民税は前年比で0.5%の微増、法人市民税は前年比で1.2%の微増と横ばいあります。個人市民税、法人市民税、もう少し伸びる余地はあったのではないか。市税収入の増収に向けて分析、今後の取り組みについて見解をお伺いいたします。

市 個人市民税については、納税義務者数の確保、市民所得の向上が必要です。やはり人口減少対策を一層強化していく。女性、高齢者など、多様な人材が働きやすく、また、活躍できる環境を整えていく地道な努力が必要だと思います。

法人市民税については、さらなる企業誘致や市内企業の活性化という地道な分野が必要です。同時に中長期を見据えた、水素産業、海洋産業など、新たな産業の育成ということをしっかりと進めるとともに、神戸医療産業都市構想をしっかりと進めていく。

要望 人口増対策として、若い世代に神戸に定住してもらわなければなりません。私は若い世代に必要なのは、仕事の安定や教育環境の整備だと考えます。仕事・保育・子育て・教育と一貫した「ヒトへの投資」をしていただきたい。



東京一極集中の是正について

よこ 東京以外に首都中枢機能の体制を確保することは国家の危機管理として必要です。関西が東京にかかるバックアップ候補としては最適であると感じています。神戸の強みである震災人材と、港神戸を活かして、これまで以上に防災庁の誘致の動きを強く働きかけるべきではないか。港神戸を国内外に発信し続けている神戸として、国土交通省並びに港湾局の神戸への移転、提案されてはどうか。



市 防災庁に期待される機能を踏まえますと、神戸市は阪神・淡路大震災を経験しまして、未曾有の被害から復興した都市として、災害文化や災害対応のノウハウを有している。また、災害時の消防、警察、自衛隊等の活動拠点としての施設も整備されているため、バックアップ機能に適していると考えています。

神戸市の持つ優位性を発信しつつ、関西広域連合の一員として兵庫県とも十分に連携を図りながら、引き続き国へ要望をしてまいりたい。

要望 港とか、空港とか、医療産業、一部芽が出てきておりますけど、神戸は全体として私は元気がないと思っています。時間をかけてやることも大事ですが、やはり即効性のある起爆剤が必要である。私は、政治は「夢と希望」だと思っております。神戸をわくわくするために、この誘致に取り組んでいただきたい。

(裏面に続く)

質問の内容は神戸市会ホームページ録画中継で！
各種委員会の発言もあわせてご覧ください。

GO!

神戸市会
録画中継

児童虐待について

よこ 昨年は16万件。3.3秒に1件の割合で児童虐待に対する通報がありました。神戸では1,800件を超え、毎年右肩上がりに増えています。児童相談所、学校、幼稚園、病院、地域、近隣地域、警察など切れ目のない連携をさらに強め、子供たちを守っていかなければなりません。一時保護を早目の段階で運用できていれば、避けられた事件も多くあります。早期発見、早期対応、それに尽きます。児童虐待に対して子ども達を守る強い意志と、一時保護をさらにしやすい状況をつくるべきと考えます。

市 御指摘いただきましたように、一時保護する際に保護者と対立したり、反発が大きい場合もありますが、警察と連携し、組織的に対応をしております。一時保護の期間は法律で原則2カ月以内と定められており、その間に子供の行動や状況を観察するとともに、保護者の指導など、家庭関係の調整を行い、虐待が再発するおそれがあるかどうかを慎重に見きわめ、子供を家庭に戻すことが可能かどうかを判断いたしまして、可能でなければ施設や里親、ファミリーホームへの措置を決定いたします。引き続き、御指摘を十分踏まえながら、子供の安全と権利擁護を第一に考え、一時保護を実施していきたいと考えております。



オレンジリボン運動

子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただき、虐待のない社会を築くことをめざしています。

行財政改革について

よこ 行財政改革2020では、新たなステージにおいて、職員一人一人がそれぞれの相当する業務の執行体制や仕事の仕方についてプラス思考で主体的に考え、あらゆる変化に柔軟に対応し、進化し続けることのできる組織に体质改善を目指すべきです。

まず、市民の変化、地域の変化に気づくことがまずは一番ではないかと思います。いち早く変化に気づくのは何か。私はごみに関することだと思っておりまして、例えば、この地域は外国人が多いとか、ひとり世帯が多いとか、地域のクリーン活動を通して、変化を感じるように思います。そして、この気づきこそが職員一人一人の中に留めておくことなく、これを区役所などにフィードバックし、新たな市民ニーズも生まれてこようかと思います。私はこれが進化だと考えます。

市 同感でございます。地域、また、市民の皆様のニーズ、そういったことに対する変化にアンテナを高くして取り上げていきたいと思っております。そういう変化なりに機敏に対応するために、市役所でありがちな縦割りを廃して、さまざまな分野でアンテナを立てて、それが取り組んでいくことに取り組みを進めております。御指摘の視点を踏まえて今後も取り組んでまいります。

都市防災委員長に就任！

6月より都市防災委員長を拝命いたしました。（消防局、危機管理室、都市局、建築住宅局が所管）三宮再整備や防災対策など、市民に開かれた市政をめざし、市民にとって有効な議論をしてまいります。



今決算議会での主な動き！

東須磨小学校における教員間のハラスメントについて

子ども達を教育する立場の教職員による「いじめ」が発覚しました。言語道断であり、子ども達や保護者の不安を払拭することが大事であり、スピードを上げて事件の全容解明をしなければなりません。また、古い体質である教育委員会を改善してまいります。

暴力団対策について

熊内町、花隈町で起こった暴力団による発砲事件について、市民の不安は高まっています。市民生活の安全のために、警察官による周辺パトロールの強化、学校など子ども達の通う施設・通学路の安全確保をせねばなりません。兵庫県や警察と連携を強め、安全・安心に努めます。